

たか、し



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

教育活動評価アンケートの結果を受けて

校長 本橋 忠旗

二十四節季では、間もなく啓蟄を迎え、冬ごみの時季から躍動の時季へと移り変わっていきます。

さて、昨年末ご協力いただきました教育活動評価アンケートの結果について、児童アンケートと併せてお知らせいたします。保護者の皆様からは、355家庭のうち、267家庭からご回答をいただき、回答率は75.2%となりました。紙面の都合上、限られた範囲でのご報告となりますが、p2・3の資料と併せてご覧ください。

1. 保護者アンケートより

全体的に「どちらともいえない」という回答の割合が高い傾向がありました。長らく教育活動等の自粛・縮小・中断があった中で、保護者の皆様に十分な情報が行き届いていなかったこともあると思います。学校のホームページでは、「学校生活日記」を中心に随時更新しています。閲覧数は1日20~30程度となっています。ぜひご覧ください。

- 問1、2「学びと成長」に関する設問では、80%近い肯定的な回答となりました。学校での学びが生かされているときのお子様の姿を認め、価値付けていただいている保護者の皆様の関わり方が推察できます。
- 問3「多様性の理解」については、「どちらともいえない」が40%となっています。学校では、学年に応じて、様々な立場の方の理解を深める学習や通級指導学級と連携した共生社会教育等を行っています。児童アンケートでは、「思いやりの心をもって過ごしている」の設問に対して、82%の児童が肯定的な回答を示しています。
- 問4「人材活用」については、ゲストティーチャーからの「生の声」やその道の生き方や考え方を学ぶ機会の充実を図っています。問5「小中連携事業」は、神明中学校と「遊びのフェスタ」での相互交流や合唱団の神明祭への参加、教員間での授業参観や意見交換会を行って

います。幼保小交流では、年3回の交流を行っています。

- 問6、7「施設・設備」については、1人1台専用タブレット端末の活用は、学年に応じて定着していると言えます。個の学びを保障する環境については、例えば学校図書館司書と連携して、教科学習に関連する本を取り揃えて学年へ配当したりしています。また、メールシステムが、令和6年度から変わります。これを機に電子データでの文書配布を進めていきます。
- 問8「いじめ対応」については、迅速に対策委員会を開催し、事実確認を行いながら対応しています。保護者の皆様の協力を得ながら適切な指導を行い、事態の解決を図っていききたいと考えています。
- 問16「子供は学校生活を楽しんでいる」については、「どちらともいえない」を含めると、約20%程度の方が否定的な回答となり、児童アンケートでも同様の傾向があります。学校生活を楽しめない要素として、学業、友達との関わり、集団生活への不応等が考えられます。個に応じた学習の進め方や体験活動・表現活動の充実、学級経営の工夫等を図りながら、魅力ある学校生活の改善に努めます。

2. 児童アンケートより

今年度、「思いやり」と「挑戦」をテーマに児童に呼びかけてきました。「思いやりの心」は82%の児童が、「挑戦」は75%の児童が肯定的な回答をしています。

- 問20「相談相手がいる」については、83%の児童が肯定的な回答をしています。相談相手には、保護者、教員、友達、各種機関等を想定した設問でしたが、児童の心に寄り添える環境が整っていることが分かりました。
- 学習や学校生活に向かう設問については、個人の課題設定や追究等の学習の進め方についての肯定的な回答が、70%前後となっています。このことは、課題解決型の学習や個に応じた学習の進め方の授業改善の必要性を示していると考えます。授業観察や校内研究等でも、取り上げながら授業の質の向上に努めていきます。